

避難時の心がまえ

- ① 正確な情報収集と自主避難
テレビ、ラジオなどから最新情報を積極的に入手し、雨の降り方や浸水状況により危険を感じたら自主的に避難してください。
- ② 非常持出し品の準備
避難時の持ち物は必要最低限とし、事前に準備しておいてください。
- ③ 電気、ガス栓は止める
避難する前に電気やガスなどの元栓を止めてください。

④ 身軽な格好で
動きやすい服装、靴で避難してください。

⑤ 二人以上で避難してください。
二人以上の複数で避難し、避難場所などを近所や親戚に知らせておいてください。

⑥ 要配慮者避難に協力を
お年寄りや子ども、病気の人などは、早めの避難が必要です。ご近所のお年寄りなどの避難に協力してください。

⑦ 車での避難は避ける
緊急車両の通行の妨げとなったり、交通渋滞を招くため、特別な場合を除き徒歩で避難してください。

⑧ 逃げ遅れたときは
万一、避難が遅れ危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の二階以上に逃げてください。

避難所での生活

大規模な災害が発生し、自宅に被害が出た場合は、避難所で避難生活をするようになります。

自主防災組織が中心となり、住民どうしが助け合い、自主的に避難所を運営する必要があります。

●避難所での生活七か条

第一条 作業などは積極的に協力する。

第二条 定められたルールや時間を守る。

第三条 個人のことは個人で責任を持つ。

第四条 退所や外泊時は手続きをとる。

第五条 意見などは順を追って申し出る。

第六条 食中毒の予防策をとる。

第七条 要配慮者に気遣い、皆で助け合う。

防災チャレンジキャンプ

避難所での生活を体験

六月二十四日(土)から二十五日(日)にかけて、新栄小学校において防災チャレンジキャンプを実施しました。

町にとつて、初の試みとなる宿泊を伴う防災訓練は、「避難所生活が

いかに不自由であるかを体験すること」を目的に行われました。

新栄小学校区から、自主防災組織、地区委員、防災士の会、消防団、

地域住民など九十八人が参加しました。訓練は、ライフラインが途絶した状況



を想定し、避難所の開設・運営、防災サバイバル飯の調理、HUG(避難所運営ゲーム)訓練など、避難所生活で役立つ知識を学びました。

参加した児童の声

新栄小学校4年

保科和音ほしなかつね

楽しかったことは、地しんが体験できた『なまず号』。しんど5強はすこいゆれて、本当の地しんのようにならなりました。

夜の校庭をたいけんする宝探しゲームも楽しかったです。子どもだけではないゆれて、木や鉄ぼうにつるしてあるカードを見つけました。

夜のご飯もおもしろかったです。作るのもかんたんで自分でもおぼえれそうでした。

大へんだった事は、トイレ。トイレの前のために水をバケツでくんで流しました。本当に災害がおこったらこんなふうになるんだなあと思いました。ねるときも大へんでした。体育館に虫がいっぱいいいたから、テントを作ったけどすごく暑くてねれませんでした。でも本番は、もつと人が集まるからもつともつと暑くなるとおもいました。次は冬にやってその体けんもできたらいいな、と思いました。今度はいろんな人に集まってほしいと思いました。

▼問合せ 防災安全課防災安全係 28・0355

9/3 町総合防災訓練

- ▶と き 9月3日(日) 午前9時~午後1時
 - ▶と ころ 豊山中学校
 - ▶内 容
 - ▷前半 (午前9時~午前10時30分)
防災関係機関(消防、警察、自衛隊など15団体)による応急対処活動
 - ▷後半 (午前10時30分~午後1時)
消火器を使った訓練、負傷者を救助する訓練、応急処置を行う訓練など町民の皆様が体験し防災を学ぶ訓練
- 会場では震度7までを体験できる地震体験車や自衛隊力レーの試食、特殊車両の展示を行います。ご家族そろって防災訓練にご参加ください。
- ※午前9時に防災行政無線(屋外スピーカー)や、会場とその周辺で緊急自動車などによるサイレンが鳴ります。